

報道機関各位

## 物流シンポジウム 「北九州市からはじまる新しい運び方」を開催します

このたび、令和5年7月にヤマト運輸(株)と締結した「物流連携協定」に基づき、本市主催で「北九州市からはじまる新しい運び方」と題してシンポジウムを開催いたします。

物流は、いわゆる「物流の2024年問題」や、脱炭素化、サプライチェーンの寸断リスクなど、様々な課題に直面しています。この大きな環境変化に対し、物流を持続可能なものにしていくためには、従来とは異なる運び方が必要とされています。

そこで、本シンポジウムでは、北九州市の充実した陸・海・空の物流基盤を活かした新たな物流のあり方について提言いただくとともに、物流拠点都市としての展望を語っていただきます。

つきましては、下記の通り、本シンポジウムを開催いたしますので、ぜひご取材いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 記

#### 1 日時・場所

日時 令和5年11月28日(火) 14:30~17:10 (開場13:45)  
場所 リーガロイヤルホテル小倉3Fエンパイアルーム

#### 2 内容 ※詳細は別紙プログラムをご確認ください

開会・主催者挨拶 14:30~14:40 北九州市長 武内 和久

第一部 基調講演 14:40~15:50

- ① 慶応義塾大学商学部教授 加藤 一誠 氏
- ② ヤマト運輸株式会社 執行役員 貨物航空輸送オペレーション設計部長  
鈴木 達也 氏

休憩 15:50~16:00

第二部 パネルディスカッション 16:00~17:10

(モデレーター) 北九州市立大学特任教授 幕 亮二 氏  
(パネリスト) 慶応義塾大学商学部教授 加藤 一誠 氏  
ヤマト運輸株式会社 執行役員  
貨物航空輸送オペレーション設計部長 鈴木 達也 氏  
株式会社NX総合研究所 シニアコンサルタント 峯 猛 氏  
北九州市立大学経済学部准教授 畔津 憲司 氏

閉会 17:10

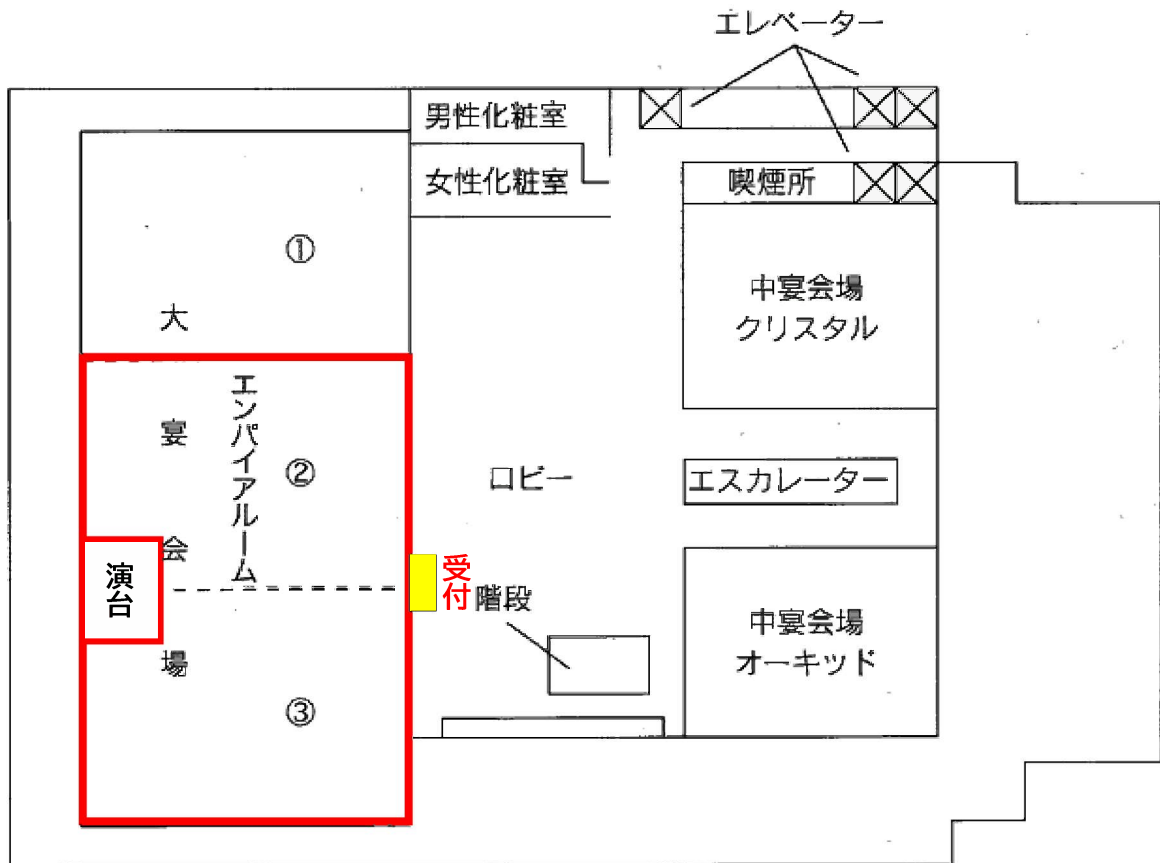
※シンポジウムプログラム、受付・会場図を添付しております。あわせてご確認ください。

#### 【問い合わせ先】

産業経済局物流拠点推進室 (担当: 池田、浦) TEL: 093-582-2296 FAX: 093-582-1202

## 北九州市物流シンポジウム 受付・会場ご案内

会場：リーガロイヤルホテル小倉3Fエンパイアルーム



### 【注意点】

- お車でお越しの場合は、会場のリーガロイヤルホテル小倉の駐車場（有料）をご利用頂くことが可能です（\*会場利用時間内は、1Fフロントにて無料サービス券を発行にてご提示下さい）。駐車場が満車の場合は、周辺のコインパーキングをご利用下さい。
- 会場図の「受付」にて、貴社名とお名刺を頂戴し、報道関係向けのお席をご案内いたします。

## 物流シンポジウム「北九州市からはじまる新しい運び方」

日 時 令和5年11月28日(火) 14:30~17:10

場 所 リーガロイヤルホテル小倉3Fエンパイアルーム(北九州市小倉北区浅野2-14-2)

主 催 北九州市

後 援 九州運輸局、九州経済産業局、北九州商工会議所

### 次 第

開 場 13:45~

開 会・主催者挨拶 14:30~14:40 北九州市長 武内 和久

第一部 基調講演 14:40~15:50

1. 物流危機と北九州市の戦略的重要性について(30分)

慶応義塾大学商学部教授

加藤 一誠 氏

2. 北九州市からつくる新しい運び方と付加価値物流の展開(40分)

ヤマト運輸株式会社 執行役員 貨物航空輸送オペレーション設計部長

鈴木 達也 氏

休 憩 15:50~16:00

第二部 パネルディスカッション 16:00~17:10

「北九州市からはじまる新しい運び方と物流の新たな価値」

(モデレーター) 北九州市立大学特任教授

幕 亮二 氏

(パネリスト) 慶応義塾大学商学部教授

加藤 一誠 氏

ヤマト運輸株式会社 執行役員

貨物航空輸送オペレーション設計部長

鈴木 達也 氏

株式会社NX 総合研究所 シニアコンサルタント

峯 猛 氏

北九州市立大学経済学部准教授

畔津 憲司 氏

閉 会 17:10

# 登壇者 御略歴（敬称略）

## 第一部

加藤 一誠（かとう かずせい）

昭和 39 年生、関西外国語大学助教授、日本大学経済学部助教授、同教授を経て、平成 27 年より慶応義塾大学商学部教授。研究分野は交通経済。日本交通学会理事、国土交通省交通政策審議会委員（航空・海事・陸上交通の各分科会委員、観光分科会長）等。近著に『航空・空港政策の展望』中央経済社（共編著）等多数。博士（経済学）（同志社大学）。

鈴木 達也（すずき たつや）

平成 12 年ヤマト運輸株式会社入社、平成 30 年ヤマトロジスティクス株式会社 販売物流サービスカンパニー 執行役員プレジデント、令和 2 年ヤマトフィナンシャル株式会社 代表取締役社長執行役員、令和 4 年ヤマト運輸株式会社 執行役員（営業開発担当）を経て現職

## 第二部

峯 猛（みね たけし）

平成 5 年株式会社日通総合研究所（当時）入社。主に自動車や鉄道といった陸運関係の調査業務に従事。鉄道貨物輸送についての需給バランスの検討など、モーダルシフト促進の業務も担当。国土交通省の統計である「全国貨物純流動調査」にも従事し、多様な産業の多様な輸送モード利用全般に精通。

畔津 憲司（あぜつ けんじ）

神戸大学大学院経済学研究科にて博士号（経済学）を取得後、帝塚山大学経済学部、大阪体育大学教養教育センターを経て平成 23 年より現職。専門は労働経済学。労働市場や企業組織における雇用や賃金に関する研究多数。大阪府人事委員会事務局特別参与、福岡県地域訓練協議会委員等を歴任。現在、北九州市の雇用動向調査を監修。

## 司会・モデレーター

幕 亮二（まく りょうじ）

株式会社三菱総合研究所空港民営化事業チームリーダーを経て郷里に U ターン、平成 29 年株式会社 MK 総合研究所を起業、代表取締役所長。令和元年より北九州市立大学大学院マネジメント研究科特任教授。